



西小だより

令和6年度 学校評価

令和6年度の教育活動を検証し、令和7年度に活かします

12月より、保護者の皆様からいただいた「令和6年度『西小学校の教育』及び『ご家庭でのお子さんの姿』についてのアンケート」と、学校職員による「自己評価」、そして大野町教育委員会や西小学校学校運営協議会、西濃教育事務所よりご指導いただいたことをもとに、今年度の教育活動を検証して参りました。

【保護者の皆様からいただいたアンケートの結果より】

■「A：よくあてはまる」と、ご回答された割合が40%以上であった項目

※【 】内の数字は、その項目に「A」とご回答いただいた割合を表しています

- ①【41%】学校へ行くのが楽しい
 - ②【40%】授業が分かりやすい
 - ⑤【62%】学級や学校の仲間と共に活動するのが楽しい
 - ⑥【55%】委員会活動や係活動に積極的に取り組んでいる
 - ⑦【43%】児童一人一人を大切にしている
 - ⑨【44%】学校は、学級通信や学級だより、懇談会、ホームページなどを通して児童の活動の様子や教育方針などを保護者に分かりやすく伝えている。
 - ⑩【54%】保護者からの相談や問い合わせに丁寧に対応し素早く対処している
 - ⑪【50%】事故の防止や非常時の対応など安全な学校づくりに努めている
- 西小では、「誰にとっても楽しい学校」を目指して全職員で全児童を育てる考えのもと職員がチームとして教育活動に取り組んで参りました。
- 今後も、児童が「できた・楽しかった」といえる学校にするため、児童の話に耳を傾け、学校職員が議論し合い、学校づくりに努めて参ります。

■今後に向けて改善していきたい項目

- ③ 授業の中で、仲間の話をしっかり聞いたり、挙手発言したりできる。
 - ④ 家庭学習への援助（宿題や学習方法のアドバイス等）は適切である。
 - ⑧ 学校は、魅力ある行事や活動づくりに努めている。
 - ⑰ お子さんは、家庭で役割をもち、きちんと手伝いをしている。
 - ⑱ お子さんは、家庭でルールを守ってテレビゲーム、スマートフォン、パソコン、タブレットなどを利用している。
- ・「家庭学習」については、家庭学習の手引きの見直しなど、来年度に向けて検討していきたいと考えている項目です。
- ・今年度、各教科においてICTを活用しながら子どもたちが互いに学び合う授業の研究を進めてきました。今後も、「教科指導力の向上」と「仲間とともに主体的に取り組む授業」に力を入れ楽しく分かる授業づくりに取り組んでいます。

「よりよい西小学校の教育の実現」をめざすため、令和7年度に取り組む教育活動についてお知らせいたします。

1 学校行事や活動の在り方について

【令和7年度の方針】

- ◎運動会は、なかよし班を基本として子どもたちが楽しめる更なる工夫を行います。
- ◎地域との協働によるキャリア教育、ふるさと教育として「校外学習」の充実を図り、体験学習や現地調査を実施します。

- ・今年度も運動会の事前の取組から当日まで、学年を超えてお互いを思いやり合ったり助け合ったりすることで高学年はリーダーとしての自覚ある姿が、下学年はチームの一員として仲間と協力する姿が見られました。
- ・次年度入学する人数が今年度より減少します。(今年度16名、次年度14名) 今後も入学する児童が減少していくことが予想されます。そのため、学年ごとに在籍する児童数の減少、男女の人数に大きな差もある中では、紅白2チームに分かれて運動会を実施することが教育的な活動であるのか今一度吟味しなければなりません。しかし、紅白対抗の要望があることも視野に入れ、楽しめる運動会の在り方をさらに工夫していきます。
- ・学習指導要領改訂により学習内容が一新しました。それに伴い今年度も「校外学習の充実」を図り、徒歩、町バス等で町内の施設等での体験学習や現地調査を実施しました。各学年のカリキュラムに合わせて、4, 5, 6年生は町外及び県外への校外学習を行い、1, 2, 3年生は、町内中心の校外学習を行っていきます。今後、児童数の減少に伴い、学校単独での校外学習を行うことが難しくなることも視野に入れて校外学習の充実を図っていきます。また、遠方への移動が難しい分、外部講師の出前授業を多数取り入れてきました。今後も専門性を生かした学習の充実を工夫していきます。

2 学習について

【令和7年度の方針】

- ◎お子さんが仲間と共に課題を見付け進んで学びを深められる授業をめざします。
- ◎ご家庭と連携して、お子さまの家庭学習の充実をめざした支援を継続してまいります。

- ・仲間と共に課題を見付け進んで学びを深めるために、子どもたちが互いに意見を交流し、自主的に学習に取り組むことができるような授業をめざしてまいります。また、進んで考えを交流するためには、話す・聞く力が大切です。また、同様に書く力も重要であるので、タブレットを活用しながら実際に書く活動も位置付けて、目的を明確にして使い分けてまいります。
- ・家庭学習については、家庭学習週間前に家庭学習の手引きを活用してどの学年でも具体的に事前指導を行い、家庭学習週間を有効に活用できることをめざします。また、家庭学習の手引きの見直しを行ってまいります。算数では、少人数の授業で授業が分かるようになったという児童の声があります。少人数指導やチームティーチングなど指導方法を工夫継続してまいります。
- ・水泳については、自校のプールとゆーみんぐのプールで熱中症対策を行いながら実施してまいります。

3 教育相談について

【令和7年度の方針】

◎お子さんの話に耳を傾け、一人一人を大切にした教育相談をしていきます。

- ・困った時や悩んだ時のSOSの出し方の指導を、生徒指導主事を中心に行っています。特に、定期的には月に1回仲間づくりアンケートを行い、その結果もとに担任が1週間かけて全員面談を行っています。子どもたちの声を聞き逃さず、適切な指導や支援につなげていくように心がけてきました。また、週に1回の生徒指導交流、月に1回のケース会で事案を共有したり、場合によってはスクール相談員、スクールカウンセラー、スクールアドバイザー等専門機関と連携したりして指導に当たっています。学校では、安心して子どもたちがつながれる大人を増やしていきたいと考えています。保護者の皆様には、心配な案件があればすぐに担任もしくは生徒指導主事、教育相談コーディネーター等、学校職員の誰でも良いので相談していただける体制をとっています。

4 その他

- ・登下校中の子ども同士のトラブルが起きることがあります。大人の目がない登下校中に安全を担保しながら自ら解決できる力を育てなければならないと考えています。そこで、定期的に分団会や分団長会を開いたり、必要に応じた指導を繰り返し行ったりしてきました。また、その都度、個別に指導も行いました。学校の見届けだけでは十分でないので、引き続き地域や保護者の皆様の見守りの協力をお願いしたいです。
- ・PTAの親子鑑賞会の在り方については、PTA本部役員さんを中心に児童と保護者が共に学べたり楽しめたりする内容について、次年度に向けて検討していただきます。